

家督を息子に譲り 50歳で天文学を志す

千葉県九十九里町で生まれた伊能忠敬が佐原の酒造業・伊能家の婿養子になったのは宝暦12年（1762）、17歳の時。危機的な家業を忠敬は、本業のほか薪問屋や米穀取引の仲買をするなど、10年の歳月をかけ、伊能家の経営を再建。「天明の大飢饉」（1782〜88）も乗り切り49歳で隠居。家業を全て長男に譲り、翌年50歳になったのを機に、幼い頃からの「夢」だった天文学を学ぶため、江戸へと旅立ったのである。

忠敬が訪ねた浅草にある天文方曆局は、星を観測して曆を作る施設だった。そこには、当時、天文学の第一人者で幕府の天文方に登用されていた高橋至時と間重富が改曆の作業に当たっていた。

すぐに至時に弟子入りを申し出た忠敬。だが、当初至時は、20歳も年上の忠敬の入門を「年寄りの道楽」程度にしか考えていなかったようだ。しかし、昼夜を問わず勉学にいそしむ忠敬の姿は本物だった。さらに巨費を投じて自宅を本格的な天文観測所に改造、日本で初めて金星の子午線経過観測に成功した忠敬に尊敬

の念を抱くようになる。至時と重富が新たに完成させたのが寛政曆である。だが、ふたりとも曆の精度には不満があった。というのも、オランダの書物などには「地球が丸い」とあり、ふたりともそれは理解していた。とあって、地球の直径はどれくらいなのか。また、子午線1度の長さについても25里、30里、32里と意見が分かかれていた。

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

「私が大事を成し遂げられたのは、高橋至時先生のお陰である。どうか先生のそばに葬ってもらいたい」。そんな願い通り、忠敬は高橋至時・景保父子の墓と並んで眠っている。人生50年と言われていたこの時代にあつて、衰えぬ知的好奇心と類まれなる行動力を発揮、世紀の一大事を成し遂げた忠敬。何よりもメンツを重んじる当時の封建社会の中で、20歳下の至時に教えるを乞うことに何のためらいも見せなかった。「地球の大きさを知りたい」という大きな夢と、燃え盛る向学心の前では、そんなプライドなど取るに足らないことだったに違いない。

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

「私が大事を成し遂げられたのは、高橋至時先生のお陰である。どうか先生のそばに葬ってもらいたい」。そんな願い通り、忠敬は高橋至時・景保父子の墓と並んで眠っている。人生50年と言われていたこの時代にあつて、衰えぬ知的好奇心と類まれなる行動力を発揮、世紀の一大事を成し遂げた忠敬。何よりもメンツを重んじる当時の封建社会の中で、20歳下の至時に教えるを乞うことに何のためらいも見せなかった。「地球の大きさを知りたい」という大きな夢と、燃え盛る向学心の前では、そんなプライドなど取るに足らないことだったに違いない。

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

「私が大事を成し遂げられたのは、高橋至時先生のお陰である。どうか先生のそばに葬ってもらいたい」。そんな願い通り、忠敬は高橋至時・景保父子の墓と並んで眠っている。人生50年と言われていたこの時代にあつて、衰えぬ知的好奇心と類まれなる行動力を発揮、世紀の一大事を成し遂げた忠敬。何よりもメンツを重んじる当時の封建社会の中で、20歳下の至時に教えるを乞うことに何のためらいも見せなかった。「地球の大きさを知りたい」という大きな夢と、燃え盛る向学心の前では、そんなプライドなど取るに足らないことだったに違いない。

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの

忠敬は「北極星の高さを2つの地点で観測し、見上げる角度を比較すれば緯度の差が出る。地球が球体なら、2地点の距離が分かれば外周が割り出せるはず！」と提案。2地点が遠ければ遠いほど誤差が減る。だったら、江戸から蝦夷地（北海道）までの距離を測ればいい……。ただし、蝦夷に行くためには幕府の許可が必要だ。そこで考えたの